

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 035	提案機関名 農業技術センター三浦半島地区事務所
要望問題名 春キャベツ抽苔要因の究明	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 春キャベツの抽苔については、主に積算気温を用いて花芽分化をさせないように播種日を決定し抽苔のリスク回避を行っている。しかし、異常気象時には抽苔の発生が多くなったり、花芽分化は進んでいるのに抽苔がおきない場合もあり、積算気温以外の抽苔にかかわる要因の究明が求められている。 キャベツ作付面積 三浦市759ha 横須賀市355ha(平成22年度野菜生産出荷統計)	
解決希望年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター三浦半島地区事務所	担当部所	研究課
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 気象変動に対応した農作物の生育シミュレーション技術の開発			
対応の内容等 当該地域の主力品種である‘金系201号’については、長年の経験則や積算温度等の気象データを基に抽苔が回避されてきましたが、H23年度産に抽苔株が散見されたように、極端な気象変動下では、平年同様の栽培であっても抽苔による減収を余儀なくされる場合があります。また、新たに現地に導入されている寒玉系品種などでは、品種特性が十分わからない面もあり、抽苔の危険率はさらに高いと考えられます。要望者のご指摘のように、抽苔の発生は積算温度だけからでは予測できない面があることから、現在、実施している標記課題の中で、花芽分化期の予測および抽苔要因について解明していきたいと考えています。			
解決予定年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			